会 議 録

会議の名称	第1回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会	
開催日時	令和4年10月7日(金)14時00分~16時00分	
開催場所	宍粟市役所本庁舎 401・402・403 会議室	
701年初77	自宅等(WEB 参加)	
議長(委員長・会長) 氏 名	林 昌彦	
委員 氏 名	(出席者) 林 昌彦、山田 寛、谷笹摩弥、 久野洋貴、岡本一也、村上晃宏、 西川彩児、西山大作、坂本幸子、 若林孝典、中林久美子、山國和志	
事務局 氏 名	市長公室:谷本次長 市長公室地域創生課:西嶋課長、谷本副課長、清水係長、白畑主査、 植田主事 産業部森林環境課:中村次長、岸根係長 市民生活部生活衛生課:田中課長、大西副課長	
傍聴人数	傍聴者なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の理由	公開・非公開(非公開の理由)	
決定事項	(議題) ・ 市長あいさつ ・ 委員紹介及び委員あいさつ【資料①】 ・ 委員長・副委員長の選出 ・ 委員長・副委員長の選出 ・ 委員長・副委員長あいさつ ・ 協議事項 (1) 総合計画及び地域創生戦略委員会について【資料②】 (2) 第2次宍粟市総合計画後期基本計画及び第2次宍粟市地域創生総合戦略の概要について【資料③】 (3) 第2次宍粟市総合計画前期基本計画・第1次宍粟市地域創生総合戦略・第三次宍粟市行政改革大綱の実績報告について【資料④-1】、【資料④-2】、【資料④-3】、【資料④-4】 (4) 行政評価(外部評価)について【資料⑤-1】、【資料⑥-2】、【資料⑤-3】・その他 第2回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認	(委員長等) 	

(会議の経過)	発昭 水→山穴
発言者	議題・発言内容
	■開会
	■市長あいさつ
市長	令和4年度から5年間のまちづくりの方針となる第2次宍粟市総合戦略
	後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略が昨年度に策定されました。委
	員の皆様には、本計画の取組について検証していただきながら、一歩ずつ
	確実に成果としてつなげていければと考えております。宍粟市には、人口
	減少のほか、様々な課題がありますが、将来に向けた持続可能なまちづく
	 りや、市民の皆様が、住み続けたい、誇りに思えるようなまちをつくりあ
	 げていくためにも、「森林(もり)から創(はじ)まる地域創生」をまちづ
	 くりのテーマに、将来像の理念である「人と自然が輝き、みんなで創る夢
	のまち」に向けた具体的な施策を実施していかなくてはならないと考えて
	おります。
	*゚^ ^ ^ ^ また、今年の 10 月に「宍粟市風景ビジョン」を策定しました。これは、
	本市の豊かな自然、歴史、風土、文化、市民生活といったものを風景とと
	らえて、そのかけがえのない風景を、市民共有の財産として守っていくと
	さんに、ためかりがためない風景を、市民共有の財産として引っていてと ともに、魅力ある価値に高めていき、市民の皆様との協働によって、宍粟
	の特性を生かしていきたいと考えております。そのスローガンとして「日
	本一の風景街道」とし、ふるさとの良さや、いま住んでいるものに誇りを
	持って、そこに住み続けられるよう持続可能とした宍粟市をつくり上げて
	いきたいと考えております。加えて、かねてより木育についても議論をい
	ただいておりましたが、木育の推進方針もあわせて今年の6月に策定をし
	ております。木のぬくもりや、市民との共感を持ったものも含めながら、
	本市特有のものをつくりあげていくことによって、市民が自然を愛する考
	え方につなげていければと考えております。
	最後に、委員の皆様におかれましては、様々な施策や課題について議論
	をいただくことになりますが、本市の発展のため、今後ともご協力いただ
	きますよう、よろしくお願いいたします
	■委員紹介及び委員あいさつ【資料①】
事務局	・委員自己紹介
	■委員長、副委員長の選出
事務局	・委員から、委員長に林昌彦委員、副委員長に山田寛委員を推薦(各委員・
	異議なし)
	・委員長に林昌彦委員、副委員長に山田寛委員を選出・承認

発言者	議題・発言内容
	■委員長、副委員長あいさつ
	■協議事項(進行:委員長)
事務局	・総合計画及び地域創生戦略委員会について
	(資料②について説明)
委員長	事務局の説明のとおり、本会議は公開となります。議事録につきましては、
	毎回議事録を作成して公表しておりますので、委員の皆様におかれましては、
	お手数ですがご確認をいただくことになりますが、ご協力のほどよろしくお願
	いいたします。
事務局	・第2次総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略の概要について
	(資料③について説明)
委員長	これから私たちが議論をしていく前提を改めて確認をさせていただきま
	した。今の説明にご質問等はございますか。
委員	資料④-3 の指標である空き家について、宍粟市に移住されている方がど
	れぐらいの期間、定住されているかという部分も重要であると考えます。
	市北部に移住された方で、雪が多くて住み続けることができなかったと聞
	きましたが、定住できた、できなかった理由や意見を聴くことで今後の参
	考になると考えます。
事務局	現在、空き家の有効活用として、担当職員と専門的に扱う定住促進コー
	ディネーターを任用して当該事業に取り組んでいます。特に定住促進コー
	ディネーターについては、移住を希望される方に対して、現地を見に来ら
	れてから、定住をされて生活をされている状況について、困りごとがない
	かなど意見を聴いています。例えば、高齢者の方でしたら、保健師さんと
	一緒に、定住後もサポートするような取組もしております。
	しかしながら、長い期間の定住には至っていないという方もおられると
	いうことも聞いております。このことについては、宍粟市に移住されると
	いうタイミングの段階で、宍粟市の地勢、環境、地域のことについて、移
	住者の皆様が納得いくまでお伝えしながら、携わっていくということが必
	要であると考えますし、現在もできるだけ取り組んでいるということを、
	ご理解いただきたいと考えます。
	しかし、なぜ定住をしなかったかという、そのことだけがクローズアッ
	プをされ、地域内での様々な臆測等が出てくる可能性もありますので、そ
	のようなことも含めて、慎重に検討させていただきたいと考えます。

発言者	議題・発言内容
事務局	・第2次宍粟市総合計画前期基本計画・第1次宍粟市地域創生総合戦略・第三次宍粟市行政改革大綱の実績報告について (資料④-1、資料④-2、資料④-3、資料④-4について説明)
委員長	全体として達成状況を分かるようにしてほしいというご意見が過去にあったことから、指標の達成状況を記号にて示しております。また、この数字だけでも分からないところを先ほど説明をしていただきました。説明がなかったところも含めて、ご意見等いただければと思います。
副委員長	この指標の評価を今後どのように生かして進めていくのかという仕組みについて教えてください。
事務局	指標の実績を基に、PDCA サイクルによって事業の進め方等について検証させていただくとともに、施策の中で課題等があった場合は、行政評価等を実施しながら、市民の方の意見を参考にしつつ、今後の課題等を解決していくこととしております。
副委員長	当時に設定した指標の目標値が妥当なのかという問題もありますが、数字にこだわる必要はないと考えます。目標に対する取組が計画どおり行われていて、宍粟市の豊かなまちづくりに向かっているということであれば評価すべきだと考えます。また、希薄な項目があれば、数字にとらわれず、取組の意義をしっかり認識して工夫をしながら事業に取り組んでいただきたいと考えます。
委員	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市内の観光業界は非常に厳しいものとなっております。しかし、このままの状態を続けていては改善を見込めないため、「宍粟市にしかない」、「宍粟市に行けばある」といった宍粟市独自の魅力を作り上げていくことが大切であり、現在、アウトドアがブームであることから、アウトドアを中心に宍粟市に来て体験をしていただいて、交流人口等を増やしていくことが重要であると考えています。具体的な取組の例として、しそう森林王国観光協会では、ウイング神姫さんと連携し、山崎インターから三宮を通る高速バスの後方に、森林セラピー、E-バイク、音水湖のカヌー、登山といったアウトドア体験をテーマにしたPR用のラッピングを行い、11月頃に運用できるよう進めています。また、一番大事なことは、市民の皆様や事業者が一体となって一緒に取り組んでいくことが大切だと考えます。

発言者	議題・発言内容
委員	商工業部門の指標では、工業部門の従業者数が減少していますが、製造
	品等の出荷額は維持できていることから、技術の向上や DX による効果と考
	えます。なお、最低賃金が10月から上がり、新規雇用者の賃金は上がるが、
	現在働いている従業員の賃金は現状維持となっている傾向があります。新
	規雇用者の賃金はどこでも同賃金の傾向であることから、求職者に選ばれ
	る企業になるには福利厚生の充実などの魅力が必要と考えます。
委員	人手不足となっている中で宍粟市内の若者たちと一緒の会社で働ける機
	会が少ないと思います。企業とのマッチングもされていますが、宍粟市の
	若者たちが働きやすい施策を進めていく必要があると考えます。
委員	地元に残ってもらう若者が減っていることや、少子化もありますが、都
	市部のほうから宍粟市に住みたいと思ってもらえるまちづくりが必要だと
	考えます。また、森林セラピーは、都市部の方々は興味をもっておられる
	ので、積極的に PR していくことが大切だと考えます。
委員	本計画の若年層の人口減少の抑制というところで、UJI ターンの増加を図
	るとされているが、UターンやIターンについてはイメージがつきますが、
	Jターンの取組について具体的にお聞きしたいです。
事務局	Jターンの取組については、事務局において内容を精査したうえでお答え
	したいと考えますので、次回の委員会にて回答させていただきます。
事務局	・行政評価(外部評価)について
	(資料⑤-1、資料⑤-2、資料⑤-3について説明)
委員長	国や県の政策との連携というのも非常に重要になってくるかと思うので
	すが、この分野のことについてご存じであれば推進の方向性などをお話し
	いただきたいです。
委員	二次評価の内容を確認させていただきましたが、よく整理されていると
	思います。宍粟市の場合、小水力発電が活用できる場所は幾つかあると思
	います。黒土のほうで取組が進んでいるわけですが、この取組が一つのき
	っかけになってほかの地域にも生かしていける、そういった下地が宍粟市
	の場合はあると思います。西播磨県民局としても、県民の方々に再生可能
	エネルギーの活用に対する考え方を普及させる取組や、宍粟市との連携が
	できればと思っております。

発言者	議題・発言内容
委員	木質バイオマスについて、一次評価で記載されているとおり灯油等の化
	石燃料に比べれば利便性は劣りますが、SDGs や環境の変化を考える中で、
	メンテナンスといった利便性が劣るから使用しないなどといった考え方を
	改めるべきであると考えます。公共施設において積極的に導入していただ
	き、公共施設の中からメンテナンス等の意見を聴いて検証していただきた
	いと考えます。
委員	小水力発電について、兵庫県内で地域の方が小水力発電事業をされてい
	るところは他にはないと思います。地域の特徴になるので、行政が協力し
	│ │ ていき、観光と連携するなど相乗効果を高めていただきたいと考えます。
委員	木質バイオマス導入に対する課題として、燃料費が高額であることやメ
	ンテナンス等における利便性が劣るとされていますが、導入費やメンテナ
	ンスにおいてサポートする体制が必要と考えます。例えば、ガス会社であ
	ればヒーターをサブスクリプションで設置をしたりしているサービスを行
	っていますので、ペレットストーブ等もそのような補助等が必要であり、
	サポート体制が充実すれば普及が進むと考えます。
委員	│ │ 太陽発電については、新規住宅に対する支援をもっと充実させる必要が
	あると考えます。
委員長	今までの意見に対して、担当課から回答をお願いします。
	, at the least of
 担当課	木質バイオマスについては、ペレットストーブや薪ストーブ等はライフ
3	サイクルコスト等を考えていく上で、費用が高額になるとともに、利便性
	が悪いというところが課題となっています。しかし、宍粟市は森林資源が
	豊富であることから、山の環境を保全し、また、木材を活用することが、
	地域の環境整備につながることを周知し、木質バイオマスの普及に努めて
	いきたいと考えます。
	黒土川の小水力発電は今年度に整備が完了し、来年度から本格的に稼働
	する予定です。今後は市と県の環境創造協会等とも連携して、本事業が起
	爆剤となるように普及啓発に取り組んでいきたいと考えます。
	木質バイオマスのサポートについては、市内におけるサポート業者がな
	かなかいないことから、サポート体制が充実できるよう検討していきたい
	と考えます。
	太陽光発電における新築住宅への補助については、現在、東京都のほう
	では太陽光の義務化されることから、近隣自治体の動向を確認しながら研
	究していきます。
	/u し く v · C み y o

発言者	議題・発言内容
委員長	それでは、ここで議論は終了したいと考えます。何か意見等がありましたら、事務局へご連絡いただけたらと思います。
事務局	■その他 第2回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について 日時:令和4年10月28日(金)14時00分~ 場所:宍粟市役所本庁舎401・402・403会議室及びリモート
副委員長	■閉会あいさつ 本日は皆様お疲れ様でした。本委員会には、様々な分野の方々に参加をいただいております。皆様におかれましては、本委員会で行う計画の検証や今後の取組の方向性に対して、それぞれの立場から率直なご意見をいただいて、計画そのものに意義があるものになりますよう活発な意見交換ができればと考えますので、第2回以降の委員会についても、積極的にご参加及びご意見をいただければと考えます。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。